

## 1. 内政

・2日、自由党改革派グループは、秋に同グループが結成を目指している新党名を自由改革党と決定した旨発表。

## 2. 経済

### ▼マクロ経済

・31日、ミロズエフIMFモルドバ駐在事務所長は、2013年のモルドバのGDP成長率を4.0%超と予測、その条件は農業分野をはじめとした各分野の2013年第1四半期と同程度の成長である旨発言。経済省及び世界銀行は、2013年のGDP成長率をそれぞれ4.0%、3.0%と予測。

### ▼中国との協力

・30日、政府は、モルドバと中国の農業関係省庁間での農業分野での協力促進に向け、同分野における二国間協力を促進するための法的枠組み及び作業部会設立等を想定した覚書が署名された旨発表。

## 3. 外交

### ▼ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相の訪独

・30日、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、ドイツを訪問し、ヴェスターヴェレ外相と会談。双方は、両国関係発展の展望、モルドバ・EU対話の進展及び沿ドニエプル問題等に関し協議。ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、司法・内務改革、ビジネス・投資環境の改善及び雇用の創出が欧州統合路線加速化のためのモルドバの優先課題である旨発言。ヴェスターヴェレ外相は、ドイツはモルドバの欧州統合路線を支持する旨表明し、東方パートナーシップ首脳会合におけるモルドバの成功を確信している旨発言。

### ▼その他

・27日、ティモフティ大統領は、ヤヌコーヴィチ・ウクライナ大統領の招きによりウクライナを訪問し、キエフ・ルーシ洗礼1025周年記念式典に出席。同日、ティモフティ大統領は、ヤヌコーヴィチ大統領との会談において両国間の国境画定作

業の早期完了の必要性を確認し、エネルギー及び環境分野における両国関係に関し協議。

・29日、ブマコフ農業・食品産業相と牛盾・中国農業部副部長は、農業分野における両国協力の活性化に関する覚書に署名。

・1日、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、EUとの自由貿易圏協定の仮署名後もロシアとの経済関係は悪化しないであろうとしつつ、ロシア主導の関税同盟にモルドバが参加することはできない旨発言。

## 4. 沿ドニエプル

・29日、モーゼル駐モルドバ米国大使は、ティラスポリにおいてシェフチューク「大統領」及びシュタンスキ「外相」と会談し、同大使館による沿ドニエプル地域内における人道支援計画に関し協議。

・30日、シェフチューク「大統領」は、武力による沿ドニエプル紛争解決の可能性は排除されない旨発言。

・31日、マリヌツァ国防相は、ロシアの沿ドニエプル地域への軍用ヘリコプター配備計画は両国間の合意に違反している旨指摘、モルドバ政府はティラスポリ飛行場の運用開始に反対である旨発言。

・1日、ゲルマン副首相兼外務・欧州統合相は、ロシアはモルドバの合意なしに安全地帯へのヘリコプターの配備を行うことはできない旨発言し、デシツァOSCE議長国特別代表は、ウクライナもロシアの同計画には同意しかねる旨発言。

・1日、ジュラヴリョフ露下院議員（「ロージナ」党首）が創設したNPO「ユーラシア統合」は、沿ドニエプルに対するロシアの財政支援計画の調整を行う同団体のティラスポリ事務所を開設。

・1日、ブルガーコフ露国防次官は、ロシアは2014年末までに沿ドニエプル地域内に残る旧式弾薬を同地域内で処分する予定である旨発言。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。  
(了)